

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 福島県南会津郡只見町立只見中学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例: 小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒 968-0441

福島県南会津郡只見町大字黒谷字上野300

E-mail tadacyuu@tadami.ed.jp

Website _____

幼児児童生徒数 男子 42名 女子 47名 合計 89名

幼児・児童・生徒の年齢 13歳～15歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、「地域とともに創る学校」を学校理念として、ESDを「持続可能な地域社会の担い手を育成する教育」と限定的にとらえ、町内の各小学校や高等学校、関係機関等との連携のもとで教育活動を推進している。

只見町は少子高齢化による集落機能の低下、若者を中心とした人口流出などが続き、将来的には自治体の存続自体も危ぶまれる状況にある。そのような中で、ふるさとを愛し、様々な形で地域に貢献できる人材を育成することは、町や町民全体の切実な願いであり、学校に課せられた重大な使命である。

そのような視点から、只見町では、小学校3校でそれぞれに「只見愛」をはぐくむ教育に取り組んでいる。当校ではその成果をさらに発展させ、生徒一人一人の地域を愛する心情を高め、地域に貢献できる力を育成したいと考えた。

今年度は、ユネスコスクール加盟初年度でもあり、①エコパークを活用した自然体験活動、②地域を巻き込んだ合同防災訓練 の2つに絞って取り組んだ。次年度以降、さらに計画的、系統的な指導ができるようにしていきたい。

① エコパークを活用した自然体験活動

只見町は、全国有数のブナの原生林など、手つかずの自然が多く残っており、「ユネスコエコパーク」に登録されている。しかし、その自然のすばらしさを実感している生徒は少ない。

そこで、第1学年では、広大なブナ林「恵みの森」での自然体験活動を行い、様々な動植物など、豊かな自然環境を体感することにより地域のよさに気づけるようにした。また、事前に「只見学ガイドブック」を利用して調べ学習を行うとともに、体験を通して気づいたことを文化祭で発表した。

さらに第2学年では、南会津郡内にある「尾瀬」での自然体験活動を行い、前年度の体験と比較することにより、只見の自然についての理解を深めた。

② 地域を巻き込んだ合同防災訓練

東日本大震災と同年の2011年7月、新潟・福島豪雨災害で、只見町も甚大な被害を受けた。その傷跡はいまだに残っており、本校生徒の中にも自宅を失い借家住まいの者もいる。この教訓を生かし、只見町内では独自に地域の防災訓練を行っている地区もある。

本校が属する朝日地区では、隣接する朝日小学校と本校の主催で、町当局や警察・消防・町内の各団体等の協力を得て「合同防災訓練」を行った。

町の防災無線を利用して近隣の地域住民に避難を呼びかけ、中学生は避難所の設置や避難者の誘導・受入を行った。この体験を通して、災害発生時の対応を学ぶとともに、中学生でも地域の一員として、地域の皆様のために貢献できることを身をもって学ぶことができた。



恵みの森のブナと小滝の中で・・・



尾瀬で何かを発見！



慌ただしい中で避難者の受け入れ



消防署の方から講評をいただく

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input checked="" type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

「只見学ガイドブック (改訂版)」

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

1年と2年の総合的な学習の時間の中に、「恵みの森」と「尾瀬」における自然体験学習とその事前・事後学習を位置づけ、外部講師も活用して学年スタッフ全員で計画的に指導するようにしている。

各学年の学級活動の時間に「防災学習」の時間を位置づけ、地域合同防災訓練の事前・事後指導を行っている。「防災訓練」の時間は、学校行事で確保している。

また、「防災教育」「地域文化」「環境教育」「国際理解」「エネルギー」「産業・食」の6つの活動内容について、各教科等で関わりの深い単元を洗い出し、ESD一覧表を作成するとともに、各教科等の年間指導計画に位置づけ、指導の重点化を図っている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

学年主任等で構成する「校務運営委員会」にESD推進の役割を持たせ、週1回定期的に委員会を開催し、原案の審議や推進状況の確認を行うとともに、決定事項は主任等を中心に確実に実践するようにしている。

本校が事務局校となっている只見町学力向上連絡会議（レインボープラン）の組織の中に「ESD研究部」を設け、町内の3小学校と本校が連携してESDに取り組めるようにしている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

ESD関連事業の評価については、事業終了後に生徒アンケート等をもとに、校務運営委員会で反省・評価を行った。また、年2回の学校評価の中にもESDに関する評価項目を含めて実施した。

今年度実施した「自然体験」「防災訓練」とともに、生徒が地域を知り地域に貢献するという意味では一定の成果があった。今後は、事前・事後学習をさらに充実させるとともに、只見町で行っている「只見学検定」への参加など、活動の幅を広げることも課題としてあげられた。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

自然体験活動については、校内文化祭（紅葉祭）の中で、各学年ごとにポスターセッション形式で発表会を行い、保護者や地域の皆様にも聞いていただいた。また、防災訓練については、学校だよりを通して保護者や地域住民に取り組みの様子を紹介した。

このことを通して、学校の取り組みや生徒の様子を地域の皆様にも知っていただくことができ、学校に対する理解を深めることができた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）
(200字程度)

※チェック事項 2-3 に対応

今年度、初めてユネスコスクールへの加盟を承認されたばかりであり、まだ他の団体との協働・交流には至っていない。今後の課題としたい。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)
※チェック事項 2-4 に対応

町内の3小学校がすべてユネスコスクールに加盟しており、町内の小・中学校間では様々な機会に情報交換を行っている。しかし、⑥と同様の理由で、他のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成には至っていない。今後の課題としたい。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項2-5に対応

自然体験活動も防災訓練も、以前から取り組んでいた行事であるが、ESDの視点で見直すことにより、活動のねらいが一層明確になった。
ESDを核として学校の教育活動全体を見直すことにより、指導内容・指導方法ともに改善すべき視点が明らかになってきた。次年度以降の取り組みにつなげていきたい。

(3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

- 4月 ESD推進計画の検討・決定
○6月 自然体験学習
・1年（恵みの森） 只見の自然についての理解を深める。
・2年（尾瀬） 他地域と比較して只見をより深く知る。
○7月 地域合同防災訓練
・災害発生時の対応について知り、万が一に備える。
・避難者の誘導・受入体験を通して地域に貢献する態度を養う。
第1回学校評価（1学期の取組状況の評価）
○9月 職場体験学習
・1年（只見町内） 只見の職場についての理解を深める。
・2年（只見町外） 他地域と比較して只見をより深く知る。
修学旅行
・3年（関西方面） 只見町についてのPR活動を行う。
○10月 只見町駅伝競走大会（日曜日に開催）
・全校生で参加。地域の一員として地域の行事に貢献する。
校内文化祭（紅葉祭）
・各学年の体験活動について保護者・地域住民に発表する。
○12月 第2回学校評価（2学期の取組状況の評価）
○2月 只見雪まつり
・1年（雪像づくり） 地域の一員として地域に貢献する。
○3月 H31のESD推進計画の検討